

2014年度決算の特徴

一般会計 歳入 1,454億円
歳出 1,416億円 実質収支 34億円（前年39億円）
繰越財源約3億円余を引く）→ 財政調整基金 17億円
翌年に繰越し 17億円
単年度収支は △5.7億円（実質収支—前年度の実質収支）

歳入 1,454億円（前年比+42億円、3.0%）

市税 608億円（+0.8億円） 歳入全体の41%（前年度43%）
うち 市民税 278億円（+2.5億円）
個人市民税 234億円（△4億円）給与所得の減
法人市民税 44億円（+6億円）情報通信業の増
固定資産税 232億円（前年並み）
都市計画税 47億円（前年並み）
市たばこ税 29億円（△1.1億円）売上高の減

地方消費税交付金 43億円（+7.8億円）
地方交付税 135億円（前年並み）
基地交付金 22.9億円（前年並み）
国庫支出金 215億円（+15.6億円）臨時福祉給付金など54億円
再編交付金7.3億円、
財産収入 7億円（△9億円）旧衛生試験所敷地の売却
繰入金 44億円（+9億円）財政調整基金から32億円
市債 171億円（+13億円）
このうち、臨時財政対策債 87億円（前年は86億円）
普通建設事業債 82億円 新ごみ処理工場建設など

自主財源 781億円（53.7%、前年55.3%）
依存財源 673億円（46.3%、前年44.7%）

歳出 1,416億円（+46億円、3.4%）

人件費 272億円（+4億円）期末勤勉手当の増
扶助費 320億円（+7億円）児童措置費の増
投資的経費 125億円（+27円）市街地再開発事業の負担金など
民生費 556億円（+31億円）臨時福祉給付金の支給など
土木費 161億円（+4億円）市街地再開発事業の負担金など

特別会計 歳入 1,093億円 (+18億円)
 歳出 1,040億円 (+3億円) 公債管理費の減18億、介護保険の増

○ 国民健康保険

歳入 525億円 (保険料108、国庫104、前期高齢者交付金145、繰入金54)
 歳出 489億円 (+6億円。保険給付費337、後期高齢者支援金60、など)
 71,723世帯、118,481人

○ 介護保険費

歳入 329億円 (保険料72、国庫支出金66、支払基金85、県44、繰入金49)
 歳出 315億円 (+12億円、4.0%) 居宅サービス110、施設サービス96
 要介護・要支援の認定者 20,334人 (+989人)、
 2000年度では、認定者7,592名、繰入金21億円、歳出95億円

○ 後期高齢者医療費

歳入 52億円 (保険料収入44、繰入金7)
 歳出 52億円 (広域連合納付金50)

○ 財務比率

財政力指数	0.800 (前年 0.800)	財政上の能力、1に近い程良い
経常収支比率	97.2% (前年 96.0%)	財政の弾力性、低い程良い
公債費負担比率	16.2% (前年 16.0%)	公債費の負担状況、低い程良い
実質収支比率	4.2% (前年 4.8%)	3~5%が望ましい
		(=実質収支額/標準財政規模)

○ 2014年度末現債高

一般会計	1,734億円	(前年 1,711億)
特別会計	10億円	(前年 10億円)
下水道事業会計	928億円	(前年 946億円)
水道事業会計	194億円	(前年 200億円)
病院事業会計	79億円	(前年 84億円)
総計	2,948億円	(前年 2,954円)

年度末現在高の推移	総計	一般会計	臨財債等
1999年度	3,560億円	1,637億円	227億円
2005年度	3,304億円	1,743億円	498億円
2010年度	3,030億円	1,669億円	602億円
2014年度	2,948億円	1,734億円	737億円

○ 財政調整基金 年度末残高 118億円 (前年度末 130億円)
 ○ 公有施設整備基金 年度末残高 1億円 (前年度末 2億円)
 ○ 減債基金 年度末残高 7億円 (前年度末 10億円)

- 水道事業 給水人口 404,423 人 (△2,571 人)、給水栓数 192,140 栓 (+714 栓)
年間給水量 6,139 万 m³ (△118 万 m³、1.9%)
収益的収入 1 2 8 億円 (給水収益 97、水道利用加入金 2.0)
収益的支出 1 2 5 億円 (営業費用 94)
当年度純利益 1 億円 (前年 5 億円) 、資金残額 7 5 億円 (前年 6 2 億円)

- 公共下水道事業 処理人口 395,007 人 (△2,134 人)、普及率 97.7%、水洗化率 95.8%
収益的収入 1 6 7 億円 (下水道使用料 68)
収益的支出 1 5 7 億円 (営業費用 132、支払利息など 20)
当年度純利益 8 億円 (前年 3 億円) 、資金残額 9 億円
一般会計繰入金 4 5 億円 (うち資本費平準化債の償還分 8 億円)
資本費平準化債 2 1 億円 (前年度 1 9 億円) 平準化債残高 1 7 8 億円

- 病院事業
 - 市民病院 入院患者数 75,196 人 (+4,796)、外来患者数 172,108 人 (△5,910)
小児科の入院を休止。(泌尿器科、産科も)
収益的収入 7 億円 、収益的支出 8 億円
一般会計繰入金 1 1 億円 (前年は 1 2 億円) うち運営交付金 0 円
当年度純損失 1.1 億円 (前年は 1.1 億円)

 - うわまち病院 入院患者数 105,636 人 (+1,511)、療養型 17,373 人
外来患者数 144,997 (△2408)
収益的収入 6 億円 、収益的支出 6 億円
一般会計繰入金 6 億円 当年度純利益 0.1 億円

- 集客プロモーション事業 7,078 万円 (実行委員会 3141、セルフプロモーション 3256)
- 横須賀魅力全集 638 万円 78000 部を中学生以下の子どもがいる世帯に配布
- 芸術劇場管理事業 5.3 億円 (指定管理料 4 億円、共用部分負担金 1.3 億円)
- 南処理工場 老朽化対策事業 10 億円 クレーン、焼却炉、排ガス処理施設、煙突
- 生活保護費 92 億円 (国負担 68 億) うち医療扶助 41 億 3982 世帯(H5、2394 世帯)
- 障害者福祉費 93 億円 (国負担 31 億、県負担 17 億)
- 救急医療センター運営事業 2,679 万円 利用者 4 万人 (内科、小児科、外科)
- 広域病院群輪番制運営事業 8,099 万円 3 市 1 町の二次救急 利用者 7705 人
- 美術館費 4.2 億円 観覧者 11 万人 (有料 6 万人) 観覧料収入 3778 万、駐車場 1220 万